

食を通じた地域のプロモーション・交流事業に関するFAQ

Q：地元にはABCクッキングスタジオがありませんが、応募できますか。

A：応募可能です。現時点では日本国内のABCスタジオを使うことが必ずしも前提ではなく、厨房設備のある公民館、市場、農家等、自治体側の提案を元に協議したうえで会場を選定する予定です。

Q：市町村レベルでの応募は可能ですか。また、他の市町村と組んで応募することはできますか。

A：可能です。（近隣の市町村であれば）複数の市町村連携での応募も問題ありません。

Q：海外事務所で募集している案件との違いは何でしょうか。

A：海外事務所の案件は海外のABCスタジオを使用し、「料理そのもの」をメインコンセプトにしているのに対し、本事業は応募自治体の提案された国内地域を中心にツアーを組み、料理の「食材」や日本国内での「地域体験」等を通じた海外への「情報発信」「地元住民との交流」を重点的に考えています。

Q：自治体側の金銭的な負担はないとのことですが、金銭以外の負担はどのようなものが挙げられますか。

A：募集要項の役割分担にあるとおり、各応募自治体にはツアー内容のブラッシュアップや現地関係者との調整及びコーディネートといった受け入れに係る事務的な協力をお願いする予定です。

また、現地でのメディアへの周知や、ツアー実施に係る進行等のサポートもお願いできればと考えています。

Q：この事業でABC社と連携する理由は何でしょうか。

A：ABC社が海外事業で保有している、情報発信能力が高く、宣伝・拡散効果が期待できる優良な顧客層に対し、新たな地方の魅力を訴求するねらいがあります。

Q：招聘する参加者の希望地域がない場合はどうなるのでしょうか。

A：クレア及びABC側で、対象地域の中からニーズを踏まえて参加者を決定させていただきます。

Q：通訳に関してもクレアが手配していただけるのでしょうか。

A：通訳は原則としてクレア及びABC側が手配しますが、地元のCIR（国際交流員）をご活用いただける見込みがあれば、その旨を様式に記載してください。

Q：農産物以外の海産物や加工品を推してもよろしいでしょうか。また、特に季節性のない食材については、本事業で取り上げることは難しいのでしょうか。

A：様式1にある「推したい食材」については、農産物に限らず、海産物や加工品もご紹介いただけます。また、通年で手に入る食材についても対象としています。

Q：例えば、時期ごとに違った食材・観光スポットを推したい場合、応募の重複は可能でしょうか。

A：可能です。その場合、応募1件ごとに様式を作成してください。

ただし、採用されるのは1自治体あたり年に1件までとなります。